

ミルベメクチン剤（コロマイト水和剤）によるイチゴのハダニ類の防除

園芸試験場

1 取り上げた理由

イチゴのハダニ類に対する新しい系統の薬剤として、コロマイト水和剤の実用性について検討した結果、高い防除効果が認められたことから、参考資料とする。

2 参考資料

- 1) 薬剤名 ミルベメクチン剤（商品名：コロマイト水和剤）
 - a 有効成分：ミルベメクチン 2.0%
 - b 製剤（外観）：類白色水和性粉末
 - c 毒性：普通物，魚毒性：C類
 - d 安全使用基準：収穫前日まで，2回以内
- 2) 対象病害虫
 - a イチゴ ハダニ類
- 3) 使用方法
 - a 使用時期：収穫前日まで
 - b 使用濃度：2,000倍
 - c 使用方法：散布

3 利活用の留意点

- 1) 本剤は既存の薬剤との交差抵抗性がなく，ハダニの全ステージに対して，高い殺虫活性を示す。
- 2) 本剤は速効性は高いが残効期間は短いので，葉に薬剤が十分付着するようていねいに散布する。
- 3) ハダニ類の密度上昇開始期に散布すると効果的である。
- 4) 同一薬剤の連続散布はハダニ類の抵抗性を増加させるおそれがあるので，年1回の使用とし，他の殺ダニ剤と輪番で使用する。
- 5) 水産動物に対して強い影響があるので，河川，湖沼，海域，養殖池に飛散，流入するおそれのあるところでは使用しない。
- 6) 展着剤によっては薬害を助長するものがあるので，汎用性展着剤を使用する。アルキルエーテル系の展着剤は使用しない。
- 7) 粉末は眼に対して強い刺激性があるので，散布液調整時には保護メガネを必ず着用し，粉末が眼に入らないように注意する。

（問い合わせ先：園芸試験場環境部 電話022-383-8132）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

新規発生病害虫の発生生態の防除技術確立に関する試験（平成10年）

2) 参考データ

表－1 イチゴのナミハダニに対する各種薬剤の防除効果（平成10年）

供 試 薬 剤	1 葉あたりのナミハダニ寄生個体数(補正密度指数)				薬 害
	散布直前	3 日後	7 日後	14 日後	
コマト水和剤	47.6	0.7 (0.7)	30.2 (21.7)	190.8 (87.5)	—
オタダン水和剤	47.6	21.3 (20.8)	7.3 (5.2)	55.4 (25.4)	—
無 散 布	51.0	109.7 (100)	149.4 (100)	233.7 (100)	

3) 発表論文等

なし

※本剤の価格は500 g で9,600円前後

包装単位は100 g , 250 g , 500 g の3種類